

皆さん、こんにちは。維新の会、楠村信二です。それでは早速質問に入りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに ICT 時代の市民サービス向上策についてです。

2020 年 9 月、第99代内閣総理大臣に菅義偉さんが選出されました。この菅総理は維新との関係も良く、維新の考えに近い政治家です。菅総理は「デジタル庁」新設に向けて、「新しい成長戦略の柱として、社会経済活動を大転換する改革」と発言されています。このことについて僕も賛成です。「脱はんこ」と発言すれば既得権者、業界団体は猛反発をする図式で、改革が骨抜きになれば、我が国の成長戦略は実行できません。アベノミクス 3 本の矢、金融政策、財政政策、成長戦略で最も肝心な 3 本目である成長戦略に繋がらなかった大きな理由が既得権打破が出来なかったことにあると思いますし、菅さんも安倍さんを一番近くで見えてきて、そう感じたのではないかと思います。日本のリーダーが「脱はんこ」と行政改革の号令をかけることによって塞がっていた道が一気に開通し広がっていくと思います。(問1-1)ここで伺います。本市に於いてより一層 ICT を活用し、高齢者、障害者等すべての人に優しい社会を作らなくてはならないと思いますが如何お考えでしょうか。

次に仮称「あまがさきイルミネーションロード」についてです。

コロナ過によって自殺者は増え、面前 DV 等児童虐待の増加、収入減、失業、倒産、等々、これからコロナ不況が何年も続くことが予想されます。失われた 30 年と言われている我が国がさらに苦境に立たされています。

(問1-2)ここで伺います。今、コロナ過で市民の心が荒んでいますし、ストレスが非常に強くなっている現状について本市の見解は如何ですか。

次に教育のワンクリック革命についてです。

国のギガスクール構想の 3 年前倒しにより、今年度中に児童生徒 1 人 1 台ノートパソコンが渡されます。これによって公教育が大きく変わっていくと思います。

(問1-3)一斉画一的な指導から一人一人の実態に応じた指導が可能になっていくと思いますが教育長の見解は如何でしょうか。

(2回目)ICT時代の市民サービス向上策について

(問2-1)ウィズコロナで今後、一か所に多くの人が集まることは出来るだけ避けた市役所のあり方を考えるべきではないでしょうか。お答えください。

(問2-2)市役所の仕事でテレワークで出来る仕事はテレワークにすることによって家族との時間が増えたり、子育てがしやすかったり、障害者雇用や高齢者も働きやすいと考えますが如何でしょうか。

(問2-3)マイナンバーカードの普及率が、令和2年10月末24,3%、昨年から少し上がっているようですが、まだ増やす必要があると考えますが、如何でしょうか。

尼崎市の高齢化率が平成29年27,1%になっています。

超高齢化社会の進展により2045年(25年後)には10人に4人が高齢者になります。

これからの時代、市役所に行かなくても、各種証明書が取れたり、手続きが出来たり、健康保険の相談、福祉や介護の相談等々が近くの公共施設でワンストップで出来れば便利です。

(資料1)

資料1をご覧ください。真ん中のオレンジ色の四角が市役所です。その周りのAからEの四角は公共施設を表しています。

例えば、Dの公共施設の近くに住んでいる市民が、①住民票がほしい②健康保険の相談がしたい③親の介護の相談がしたいと考えていました。仮にDの施設を生涯学習プラザとします。この市民は近くの生涯学習プラザに行き、この「あまがさき市民サービスシステム(仮称)」のパソコンでマイナンバーカードを読み取らせます。そうすると画面は市役所の1番のオペレーターに繋がります。オペレーターに要件を伝えます。住民票などはそのオペレーターが処理をし、健康保険の相談なら4番の健康保険担当の画面に繋がります。さらに介護相談が必要なら5番の介護保険担当の画面に繋がります。

(主な公共施設一例)

生涯学習プラザ 12 か所

地域包括支援センター12 か所

南北保健福祉センター2 か所

他、多数

パソコン 1 台が市役所が変わるとも言えます。

オペレーターの一部はどこでも仕事が可能ですし、元市職員でも可能ですし、育児休暇後の子育て職員でもアウトソーシングでも可能です。好きな場所で好きな時間働くこともできます。

(問2-4)市役所に行かなくても、手続きや各種証明書が取れたり、相談等々が出来るICTを使った「どこでもドア」的なワンストップサービスを実施してはどうでしょうか。

(資料2)もう一つは避難所にネットワークを構築する提案です。

例えば、避難所 A から D に 4 人家族が別々避難した場合、マイナンバーカードを避難所のパソコンに読み取らせれば、いつ、どこの避難所に家族が避難しているかがわかりますし、このマイナンバーカードの情報を市の災害対策本部で活用すれば、各避難所の人数や年齢構成、性別等々の情報、さらには将来、避難者の疾病など情報も取ることも可能になれば支援物資(食料・薬)や支援活動に大いに役に立ちます。

(問2-5)避難所のICT活用やマイナンバーカードを使った新しい避難所のシステムを作られては如何でしょうか。

(2回目)仮称「あまがさきイルミネーションロード」について

今後、数年間はコロナ不況により、ますます市民の心は荒んでいきますし、世の中が暗く淀んでいる、今こそ、希望の光が必要と考えます。

(資料3) (問2-6) 例えば、尼崎を東西に通っている山手幹線にイルミネーションロードを12月につくり、市民へ希望が少しでも与えることができると考えます。市の予算は使わず、クラウドファンディング等で全国からご寄付を頂き、実現されてはどうか。

(2回目)教育のワンクリック革命について

(資料4) (問2-7) 尼崎市の子どもの学力が全国平均を超えられない、頭打ちになっている現状を打ち破る必要があります。ICTの活用如何で全国平均を超える可能性があると思いますが、如何お考えでしょうか。

(資料5) 今後、オンライン授業をすることで、どの生徒が授業を理解しているのか、どの生徒が分からないのか。また、どの授業箇所が分からないのか、これからはワンクリックで分かるようになると思います。この教育のワンクリック革命ともいえるもので、教育が「見える化」されます。

わからない箇所があれば、その児童生徒に合わせた宿題などを出すことも出来ますし、オンライン授業を再び自宅で見直すことも出来ます。オンライン授業は何回も聞き直せることと、再生速度も変えることができますので、自分のペースにあわせて学習できます。

(問2-8) 宿題についても変わっていくと思います。これからのICT教育時代には画一的な宿題は効果的ではないと思いますし、児童生徒一人一人に合った効果的な宿題を学校は出すほうがよいと考えますが如何お考えでしょうか。

オンライン授業でわからない箇所で見守ることで児童生徒がワンクリックすることで、どの児童生徒が理解できているのか、どの児童生徒がどの箇所がわからないのか、さらに先生自身が授業のどの箇所がわかるように教えられていなかったのか、先生たちの授業改善にもつながると思います。この教育のワンクリック革命ともいえるべきもので教育は大きく変わっていくと思います。

(問2-9)教育長にお聞きしたいと思いますが、  
前回、9月議会不登校児童生徒のオンライン授業についての有効性について発言させて頂きましたが、これからすべての児童生徒1人1台の端末を効果的に活用するためにも、オンライン授業を本市において実施して頂きたいと思います。現在、コロナ感染症によって休校が相次いでいます。これからのウィズコロナ時代を考えるとオンライン授業を行っていく必要があると思いますが教育長、如何お考えでしょうか。

(問2-10)家庭でのネットワーク環境が整っていない家庭がありますが、そのことによって本市のICT教育が遅れてはなりません。「家庭でのオンライン学習環境整備」について国で補正予算が付き、年収400万円未満の家庭にモバイルルータの設置ができるようになりました。通信費用は各自治体負担のようですが、今後、本市として教育にICTを積極的に活用するならば、来年度予算に計上すべきと考えますが如何でしょうか。